

お金の使い方や集め方を見直していくよ

札幌のまちづくりをさらに進めるためにはお金がかかります。そこで札幌市では、お金の使い方や集め方を見直す計画をたて、実行してきました。

行財政改革推進プランの取組



行財政改革推進プランの取組(H23~26) 平成26年度予算での見直し額合計198億円

①経費節減など市役所自らが努力して節約します。

経費節減 人件費の見直し 収納率の向上

②公共事業などはまちづくりの計画に沿って優先度の高いものから集中的に行います。

③サービス水準やサービス料金を見直します。

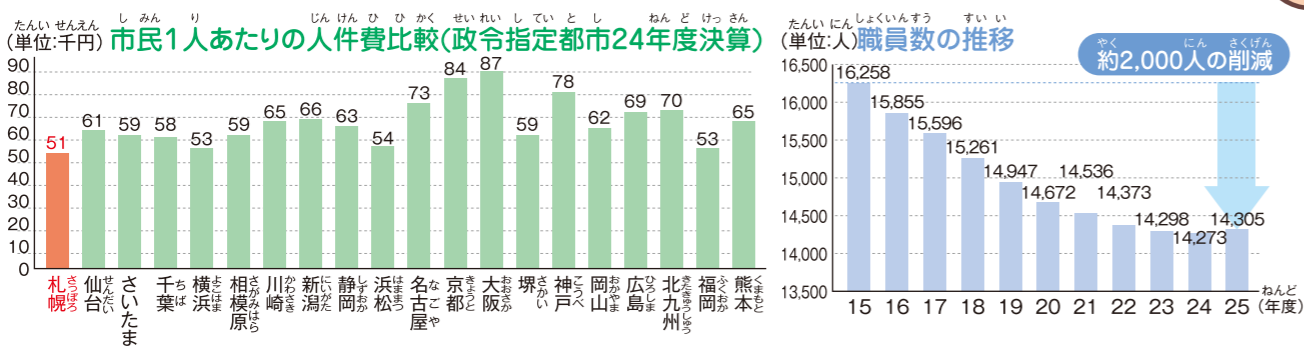
④土地の売却など、持っている財産を有効活用します。

⑤市税収入を増やしていくための取組を進めます。

札幌は政令指定都市の中で市民1人あたり人件費が一番少ないんだね



これまでの取組結果の例



24年度~26年度の効果額合計 522億円

見直したお金を活用して...

こんな事業に取り組んでいきます!

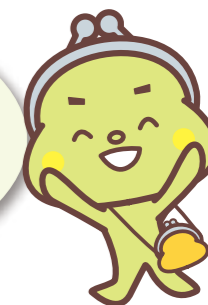
- 待機児童数ゼロを目指した保育所定員の拡大や不登校の子どもへの支援など、子どもの健やかな成長のための環境づくりを行います。
- 札幌の経済を元気にするため、北海道の食を活かした産業を振興するほか、市民集会施設の改修による、地域活動を行う場の充実などを進めます。
- 防災体制の強化や学校の耐震改修など、災害に強いまちづくりを進めるとともに、小中学校への太陽光パネル設置など、環境にやさしい取組を進めます。

おサイフのためにわたしたちには何ができるのかな?

みんなでできるまちづくりの例

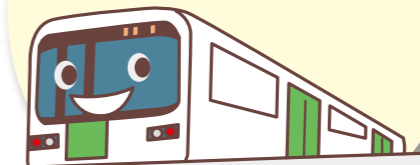


みんなが住みよい元気な札幌にするためには、下の図のような良い循環に乗せていくことが大切です。そうすればおサイフが元気になるます! 力を合わせてまちづくりを進めていきましょう!



公共交通機関の利用

通勤・通学には環境にもやさしい地下鉄を利用しています。みんなの財産ですから。



さっぽろの魅力PR

地域のおいしいものを食べたり、文化芸術に親しんだりして札幌を楽しんでいます。遠くに住む友達もうらやましがって遊びにくるんだ!



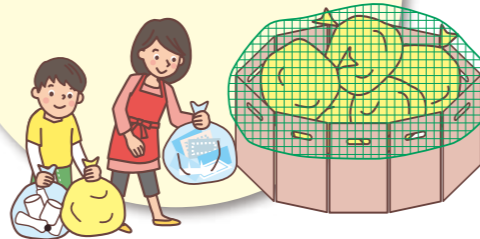
地域での取組

登下校時の子どもの安全を守ったり、日常生活に支援が必要な方を見守るなど、みんなが安全・安心に暮らせるまちにしています。



ごみの減量・リサイクル

ごみの正しい分別によるリサイクルや、生ごみの水切りによる減量などで、環境にやさしいごみの少ないまちにしています。



魅力あふれる札幌市!

市民一人ひとりのまちづくり

まちづくりをさらに推進!

観光客数増加! 新たな企業が札幌に!

市税収入増加! おサイフがより健康に!

企業の売上UP! 経済が活性化!